



# Firepower Management Center について

Firepower Management Center は、Firepower システム展開における集中管理点およびイベントデータベースとしての機能を提供します。Firepower Management Center は、侵入、ファイル、マルウェア、ディスクバリエーション、接続、およびパフォーマンスのデータを集約して相互に関連付け、特定のホストに対するイベントの影響を評価し、ホストに侵害の痕跡を付けます。これにより、デバイス間で交わされる情報の監視、ネットワーク上で発生するアクティビティ全体の評価や制御が可能になります。

Firepower Management Center の主な機能は次のとおりです。

- デバイス、ライセンス、およびポリシーの管理
- 表、グラフ、および図を使用したイベントとコンテキスト情報の表示
- ヘルスとパフォーマンスのモニタリング
- 外部通知とアラート
- リアルタイムに脅威に対処するための関連付け、侵害の痕跡、および修復機能
- カスタムおよびテンプレートベースのレポート作成



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた有資格者が行ってください。ステートメント 49

このインストールガイドは、Firepower Management Center の展開および設置に関する情報、およびハードウェア仕様とメンテナンスに関する情報を提供します。

## Firepower Management Center のモデル

すべての Firepower Management Center にも同様の機能がありますが、容量と速度が主な違いとなります。Firepower Management Center のモデルによって、管理できるデバイス数、保存できるイベント数、およびモニタできるホスト数とユーザ数が異なります。

MC4000 では、シスコのユニファイド コンピューティング システム (UCS) プラットフォームが Firepower システムに導入されます。MC4000 は、ベースボード管理コントローラ (BMC) 上で UCS Manager や Cisco Integrated Management Controller (CIMC) などのツールを使用するシスコの機能をサポートしないことに注意してください。

次の表に、Firepower システム と一緒に Cisco から提供されるアプライアンスを示します。

**表 1-1**            **Firepower Management Centers**

モデル	シリーズ/グループ	タイプ
MC750 (Rev. 1 および 2)	Management Centers	Management Center
MC1500		
MC2000		
MC3500		
MC4000		